

社会教育課からのお知らせ その1

人権を考えるミニ講座を開催します。どうぞご参加ください。

令和7年度「あったかハート♡ミニ講座」

人権を扱ったDVDを視聴し、それぞれの思いを語り合う集まりです。

▶と き：1月19日(月) 午前10時・午後2時の2回（1時間程度）

▶ところ：中央公民館小会議室

参加は無料です。また、事前申し込みの必要ありません。聞だけの参加でも構いません。都合の良い時間帯を選んで、おいでください。宜しく申し上げます。

☎ 社会教育課 人権教育指導員 ☎0968・86・2022（中央公民館）

社会教育課からのお知らせ その2

「人権を学ぶフィールドワーク」

人権教育・啓発の新しい取り組みとして、今年度から「フィールドワーク（現地学習会）」を始めます。第1回目は、戦後80年ということで県内のあまり知られていなかった戦跡、球磨郡錦町にある通称「ひみつ基地ミュージアム」を訪ねます。

下記の要項をお読みになり、参加希望される方は、直接中央・三加和公民館に備え付けの申込用紙に記入して提出されるか（15名限定）、またはQRコードからお申し込み（5名限定）ください。詳しいことをお尋ねになりたい方は、下記の社会教育課担当までお問い合わせください。

三加和公民館 担当 青木 ☎0968・34・3047

中央公民館 担当 池上 ☎0968・86・2022

記



▶日 時：1月23日(金)

▶場 所：錦町立人吉海軍航空基地資料館（にしき ひみつ基地ミュージアム）
球磨郡錦町大字木上西2-107 ☎0966・28・8080

▶参加料：無料。入館料1500円（90分のコース）や昼食代等は自己負担です。

▶移動手段：町のマイクロバスを使用します。（募集枠は最大20名）

▶日 程：（9時30分）三加和公民館出発 ⇒（9時50分）中央公民館経由 ⇒ 菊水インター ⇒ 人吉インター ⇒ 人吉市内で昼食 ⇒（13時ごろ）90分コースで、資料館、洞窟内の基地跡等を回る予定です。

▶申込期間：1月5日(月) 午前8時半から1月19日(月) 午後9時まで。先着順

おうちで食べたい給食レシピ！
「おさつサラダ」



4人分量（小学生量4個分）

さつまいも〔角切り〕・180g（中1本）
きゅうり〔輪切り〕……50g（1/2本）
にんじん〔千切り〕……30g（3cm分）
コーン……40g（大さじ4）
ハム〔短冊切り〕……25g（2枚）
マヨネーズ……30g（大さじ強）
塩・こしょう……適量

【作り方】

- ① 野菜は塩少々を加えた湯でそれぞれゆでる。
- ② ゆでた野菜を冷まし、ハム・調味料と和えたら完成！

ひとくちメモ

おさつサラダの「おさつ」はさつまいものことです。さつまいもは秋に収穫されますが、2～3か月貯蔵すると甘みが増し、よりおいしくなります。ぜひ作ってみてください＾＾

文芸広場

肥後狂句

年の暮れ	万札逃げの早かつ	池田	茜
年の暮れ	身体一ぱいサロンパス	瀬上	歌子
年の暮れ	買わにゃん物が多すぎる	井上	りんどう
忙しか	言わす割にやアよこしら	高木	せいや
忙しか	口で加勢せな	はか	どらん
忙しか	ひま人相手	出来	んたい
忙しか	相手わからん電話まで	福永	すみれ
忙しか	身体の強か証拠たい	石原	かわせみ
来年どま	モノの値段の下がるこつ	床山	道草
池上	沢庵		

かなしき原俳句会

九州場所戦下の力士賜杯抱く	明
ひるがへる国旗勤労感謝の日	康子
縁側は極楽浄土日向ぼこ	弘子
冬に入る五臓六腑に染みる酒	誠一
茶の花をほっこりほく日和かな	弘子
昼食のつく招待や秋日和	貞子

菊水俳句会

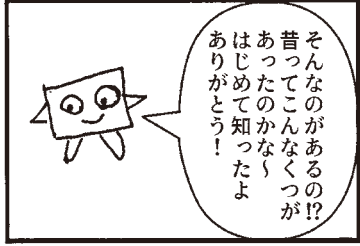
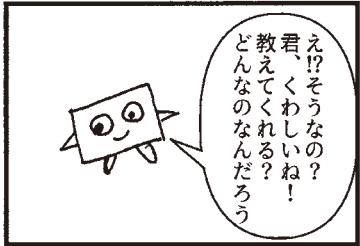
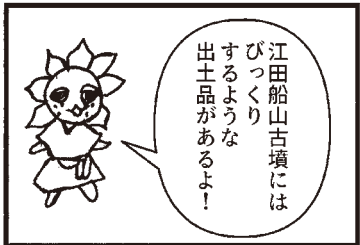
はだか木の枝を透して白き月

物価高単品で買うおせちかな

さわさわと眠れぬ夜半の時雨かな

池田 松子
嶋田 俊一
本田 美穂子

「鉄の靴」 りゅうと（11）



子ども4コマ劇場⑩

ロマン館の秘密

学童のSEPのみんなが
ロマン館の秘密を紹介する
シリーズです

＜コラボ企画＞
ロマン館XSEP X子ども出版社

和水町公民館図書室だより

☎ 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022

三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

明けましておめでとうございます。本年も、両公民館図書室のご利用をよろしくお願いいたします。1月5日は、その語呂合わせから「囲碁の日」です。最近では、一力遼四冠が、日本人として27年ぶりに世界王者に輝いたことでも話題となりました。今月は、その一力遼四冠の著書と、囲碁の世界を舞台にした本のご紹介です。



「幻庵 上下」

百田 尚樹
（文藝春秋）



「AI時代の最善手」

一力 遼
（PHP 研究所）

三千年前に中国で生まれたという囲碁を、今のような形に進化させたのは江戸時代の日本人だった！碁を好んだ徳川家康が、当代有数の打ち手に扶持を与え、碁に精進するよう命じたことを機に四つの家元が生まれた。…文化文政から幕末にかけて当時の碁打ちたちを恐れさせた一代の風雲児「幻庵因碩」の、時のライバルたちとの激闘が繰り広げられる世界に浸ってください。

2024年、囲碁界最高峰の国際大会である「応氏杯」において、日本人として27年ぶりの優勝を成し遂げた著者が、自身の歩みを振り返りつつ、現代囲碁とAIの関係、そして勝負の本質について綴った本書。テレビゲームがきっかけで5歳の時に囲碁をはじめ、レベルアップしていく楽しさが囲碁を続ける原動力だったと言う著者。AI時代における人間の可能性を考えるに興味深い一冊です。